

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 180 - 8580
住 所 東京都武蔵野市西久保 1 - 25 - 8
氏 名 株式会社 すかいらく 印
代表取締役 谷 真
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 すかいらく		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市宮前区菅生5丁目2番18号		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	M	宿泊業、飲食サービス業
	中分類	76	飲食店
主たる事業 の内容	レストランチェーンの運営		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		3,487 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	建設設備チーム
		所在地	東京都武蔵野市西久保 1 - 6 - 14
	電話番号		0422-37-5802
	FAX番号		0422-37-5810
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成 22 年度 ～ 平成 24 年度 (報告年度 平成 23 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しています。 株式会社ジョナサンとの経営統合により、今回報告から、合算して報告。

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	6,190 5,400 t-CO ₂	6,010 5,210 t-CO ₂	6,170 5,350 t-CO ₂	t-CO ₂	6,004 5,238 t-CO ₂
削減率		2.9 3.5 %	0.3 0.9 %	%	3.0 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	売上高		単位	t-co2/百万円	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	1.065	1.128	1.017		1.033
削減率		-5.9 %	4.5 %	%	3.00 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	各店にて、LED導入や高効率空調機の導入(故障対応及び計画的入替)を実施し、温室効果ガス削減ができた。
第2年度	各店にて、LED導入や高効率空調機の導入(故障対応及び計画的入替)を実施し、温室効果ガス削減ができた。 東京電力管内では、計画停電が実施され、節電対策を強化。運用面での削減効果も大きい
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

売上高対比年1%の二酸化炭素排出量の削減を目標としており、さまざまな計画を実施中。 計画途上ではあるが、目標値 1.033 tco2/百万円に対して、平成23年度実績 1.017 tco2/百万円を達成した。 LED電球は、全店舗の客席に導入済み。
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	全社横断的な環境プロジェクトの設置 LED照明の導入(客席及び軒天部) 高効率空調機の導入 加熱機器(コンベアオープン)のアイドル時省エネ設定の実施 ペアガラス設置 遮光フィルム設置 外断熱による断熱性能向上
	第1年度	LED照明の導入(客席及び軒天部) 全店を対象として、計画的入れ替え中。3月末までで90%の店舗で導入済み。 高効率空調機の導入 故障対応だけでなく、計画的入替を実施。
	第2年度	LED照明の導入(客席及び軒天部) 全店導入済み。 高効率空調機の導入 故障対応だけでなく、計画的入替を実施。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

（２）再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

老朽化設備の導入されている店舗に対して、故障時または故障発生予測に基づき、ヒートポンプ給湯器、ヒートポンプ技術を用いた高効率空調設備の導入を推進し、検証する。検証後、効果測定結果に基づき、横展開を行う。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
ヒートポンプ給湯器	一店舗以上で導入を計画	平成24年度	予定
ヒートポンプ技術を用いた高効率空調和設	一店舗以上で導入を計画	平成24年度	予定

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

[illegible]

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	店舗での廃棄物を減量させるため、食材の下処理工程はほぼ自社工場での加工とした。 廃棄物の減量化を図るため、可燃物として、廃棄されている生ゴミを対象に、店内にあるゴミ捨て場に水分を減少させるための、水切りカゴを全店に設置済み。 さらに水切り効果を上げるため、水きりカゴの変更を検討中。 カゴと排水口間に距離を取り、カゴ本体の底面にもテーパをつける
第1年度	店舗での廃棄物を減量させるため、食材の下処理工程はほぼ自社工場での加工とした。 廃棄物の減量化を図るため、可燃物として、廃棄されている生ゴミを対象に、店内にあるゴミ捨て場に水分を減少させるための、水切りカゴを全店に設置済み。 さらに水切り効果を上げるため、水きりカゴの変更を実験中
第2年度	廃棄物の減量化を図るため、可燃物として、廃棄されている生ゴミを対象に、店内にあるゴミ捨て場に水分を減少させるための、水切りカゴを全店に設置済み。 さらに水切り効果を上げるため、水きりザルへの変更は全店済み
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	5,758	t-CO ₂
(調)	5,752	

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	62

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--